

## 目標達成計画

作成日: 平成 23年 11月 20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 |      |  |   |  |            |
|----------|------|--|---|--|------------|
| 優先順位     | 項目番号 | 現状における問題点、課題   | 目標  | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容   | 目標達成に要する期間 |
| 1        | 36   | ホーム便りや今後開設予定のホームページ掲載などに備え、個別に写真の使用同意書等を作成されることを期待する。  | 写真利用に関して、入居者様やご家族様に納得、安心して頂けるよう努めていく。                       | 広報誌やホームページへの写真使用・掲載について、ご利用者様やご家族様へ説明を行い、ご理解の上、個別に文書にて同意書を頂く。  | 3ヶ月        |
| 2        | 2    | 他施設の成功例を参考に事業所内で検討し、地域住民との交流や幼稚園、小学校との交流を図るため、事業所自ら積極的に情報を発信したり、地域の行事に参加するなど、顔の見える関係づくりに努めることを期待したい。 | もっと積極的に地域との関わりをしていくことで、理念に掲げる「地域との関わりが深いグループホーム」を実現していく。    | 自治会へ定期的に参加し、地域の行事や実情等の把握に努め、地域の行事に積極的に参加する。又、地域の方へ当事業所の広報活動を自発的に行っていくと共に、幼稚園への慰問のお願いや小中高等学校へ職場体験の依頼等を行いながら地域との関係づくりに努めていく。                         | 12ヶ月       |
| 3        | 33   | ホームの看取りに関する姿勢を活かす為にも、連携在宅診療医や他施設の看取り体制を参考にしながら、実践に向けた意識統一を期待する。                                      | 利用者の方が可能な限り、その日がおとづれる迄、継続して施設でその人らしさを尊重した生活ができるような体制作りに努める。 | グループホーム連絡協議会等を通して、他事業所での看取りについての情報収集を行い、看取り介護を実践するための参考にすると共に外部研修へ積極的に参加し、全スタッフへ水平展開しながら知識、情報の共有化を図っていく。又、在宅診療医からの指導、助言を頂きながら、利用者に応じた具体的な対応を行っていく。 | 12ヶ月       |
| 4        |      |  |   |  | ヶ月         |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。